

夢京橋あかり館の宿泊施設化に向けたサウンディング型市場調査
対話結果の公表について

令和5年12月11日
彦根市産業部地域経済振興課

1 対話実施の経緯

今回のサウンディング型市場調査は、彦根城のすぐ前に位置する「夢京橋あかり館」を民間の豊かな創造力で宿泊施設化するために、市場性の把握および公募条件の整理を目的として実施したものです。

なお、本対話への応募の有無は、事業者公募における審査の採点には一切影響しません。

2 対象用地・施設の概要

施設名称 「夢京橋あかり館」

所在地 滋賀県彦根市本町二丁目1番3号

3 対話期間

実施要領公表 令和5年7月11日(火)

現地見学会の開催 令和5年8月2日(水)、8月10日(木)、8月23日(水)

サウンディングの実施 令和5年8月29日(火)、9月22日(金)

4 対話の参加者

(1) 現地見学会参加者 2社

(2) 個別対話参加者 2社

5 対話結果の概要

対話の対象項目	対話概要
宿泊施設化の方向性	・ 宿泊施設化は可能。宿泊客のターゲット設定は要検討。
宿泊施設内部の改装提案	・ もともとの施設が宿泊施設ではないため、窓の増設や配管工事などの検討が必要。 ・ 物品等の搬入経路については検討必要。 ・ 部屋数は4~6部屋程度。 ・ 軽食が取れるカフェあるいは売店が必要。
中心市街地の回遊性の向上	・ 中心市街地の観光ポイントはいくつかつながれば、向上の可能性あり。 ・ 国民スポーツ大会や全国障害者スポーツ大会の後も継続し

	<p>て観光客を誘致できるようなアイデアが必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの宿泊施設だけでは観光客誘致までは至らない。様々なアイデアを組み合わせる工夫が必要。 ・人がつながる場所、あるいはきっかけづくりのイベント等が必要。 ・観光客の回遊性をもたせるのであれば、移動手段も考える必要がある。
地元との協力体制について	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食を外食とする場合、地元商店街との連携が必要。 ・夕食は、系列店からの持ち込み、弁当形式も可能。 ・カフェや喫茶機能を置く場合、周辺の店舗と競合しない工夫が必要。 ・朝食は施設内で提供することも検討。

6 対話結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査により、民間事業者の方々から様々なご意見やご提案をいただきました。今後、対話結果を踏まえて、公募条件やスケジュールの整理・検討を進めます。